

i-パワードエネルギー・システム研究センター開設記念シンポジウム

国立大学法人電気通信大学（学長：福田喬）では、地球規模でのエネルギー問題について再生可能エネルギーと ICT 技術の融合の観点からソリューション研究を展開し、グローバル人材育成と産業競争力向上に貢献するために「i-パワードエネルギー・システム研究センター（i-PERC）」（センター長：市川晴久）を本年 1 月 1 日付で設置いたしました。

これを記念して、7 月 31 日（金）14 時から電気通信大学構内にて開設記念シンポジウムを開催いたします。当日は、文部科学省、科学技術国際交流センター、産業界から来賓を招きご講演をいただく予定となっています。概要は以下の通りです。このシンポジウムは、研究者、企業はもちろん、市民、学生、どなたでも参加できますので、是非ともご掲載いただきますよう何卒よろしくお願いたします。また、当日のご取材もお待ちしております。

日時：7 月 31 日（金） 14：00～16：40

場所：電気通信大学 B 棟 202 号室（東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1）

■プログラム：

開会の挨拶

- ・電気通信大学長 福田 喬

来賓祝辞

- ・文部科学省 科学技術・学術政策局長 川上 伸昭 氏

基調講演

- ・科学技術国際交流センター会長 柘植 綾夫 氏

i-PERC の紹介

- ・i-パワードエネルギー・システム研究センター長 市川 晴久

ゲスト講演

- ・日本電気（株）執行役員 スマートエネルギービジネスユニット担当 國尾 武光 氏
- ・富士通（株）スマートシティ・エネルギー推進統括部 シニアディレクター 市村 富保 氏
- ・横河電機（株）執行役員 マーケティング本部長 伊東 千明 氏

閉会の挨拶

- ・i-パワードエネルギー・システム研究センター 副センター長 新 誠一

■お申し込み：www.iperc.uec.ac.jp

<参考>

i-パワーエネルギー・システム研究センター詳細について

電気通信大学では強みである情報通信技術を活かしてエネルギー問題を見直すため、エネルギーと情報通信が一体化したエネルギー、情報処理によって元より量的拡大、質的強化したエネルギーを「i-パワーエネルギー」と名づけ、2015年に本研究センターを立ち上げました。

先進国では再生可能エネルギーシステムの大型化が進む一方、発展途上国では太陽電池と蓄電池からなる小規模の太陽光発電システム（SHS: Solar Home System）の普及が拡大しています。後者は利用人口が格段に多く、蓄電池技術の潜在的需要は激増しています。

i-パワーエネルギー・システム研究センターでは、蓄電池をネットワーク上でクラウド管理するバーチャルグリッド（電線を介さない電力網）システムの研究を行います。本研究では、ポータブルで無害な高エネルギー密度蓄電池の安全性と利用効率を向上させ、コストを低減することにより、再生可能エネルギー（小規模発電）のエネルギービジネスを支援します。電池の利用効率を向上させることによって、先進国を含め発展途上国での再生可能エネルギー利用を拡大し、地球環境問題の抜本的改善に貢献したいと考えています。

本学では再生可能エネルギーと蓄電システムに関する研究センターを立ち上げるのは初めての試みであり、2018年に迎える創立100周年記念行事の一環として大きな期待を集めているプロジェクトです。

<お問い合わせ>

国立大学法人 電気通信大学

i-パワーエネルギー・システム研究センター事務室

電気通信大学構内 西3号館105号室

電話 : 042-443-5935 (担当: 仲田)

Email : iperc-info@uec.ac.jp オフィシャルサイト:www.iperc.uec.ac.jp

(報道関係)

国立大学法人 電気通信大学

総務課広報係 (担当: 平野、岡村)

電話 : 042-443-5019

Email : kouhou-k@office.uec.ac.jp